

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2023年1月31日

BMJ:

「感染したからワクチンは不要」ではない：ハイブリッド免疫の話

【松崎雑感】

コロナに感染したけれど、無事に治って、もう免疫ができているから、ブースターワクチンは受けなくてもよいのでは、と考える方も少なくありません。でも、急ぐことはありませんから、ブースターワクチンを受けると、受けない場合に比べて、たとえ再感染しても、重症化リスクが10分の1以上減ります。迷っておられる方には、このBMJの論説をご紹介ください。

「感染したからワクチンは不要」ではない：ハイブリッド免疫の話

Torjesen I. Covid-19: Vaccination plus infection offers best protection, finds study led by WHO. *BMJ*. 2023;380:p171. Published 2023 Jan 23. doi:10.1136/bmj.p171

Lancet Infectious Diseasesにワクチン免疫と自然感染免疫の両方があると、いずれか一方の場合よりもはるかに強力な免疫＝ハイブリッド免疫が獲得できるというシステムティックレビューが掲載された。

ハイブリッド免疫獲得から12か月後に、感染防止効果は41.8%に減るが、入院と重症化防止効果は高いレベルで持続していた。

ワクチン2回接種完了と自然感染歴がある場合、つまりハイブリッド免疫が成立すると、12か月後の入院、重症化は97.4%低下し、再感染率も41.8%低下していた。

一方、自然感染歴があるが、ワクチン接種がない場合、入院、重症化防止効果は74.6%、再感染防止効果は24.7%にとどまっていた。

ハイブリッド免疫は、順番は問わず、ワクチン接種と自然感染歴の両方がある者が獲得する免疫である。

ハイブリッド免疫のスタートラインは、直近の感染から2か月後、直近のワクチン接種から1～2週間後である。

ワクチン2回完了した人々がそのあと感染した場合、しばらくハイブリッド免疫が続くため、ブースター接種を6か月後くらいに送らせても十分であるということになる。（後略）